

## コミュニティガーデン活動によるニュータウンのコミュニティ再生や地域管理の可能性

Study on the Possibility of Regeneration of Community and Management of Local Environment in Newtown by Community Gardening Activities

武田 重昭\* 玉井 一生\*\* 加我 宏之\* 下村 泰彦\* 増田 昇\*

Shigeaki TAKEDA Issey TAMAI Hiroyuki KAGA Yasuhiko SHIMOMURA Noboru MASUDA

**Abstract:** About half a century has passed since management activities were begun in Senboku Newtown, and local associations are expected to play a leading role in maintaining and managing its local environment for the future. This study aims to clarify the development of management activities which local associations have conducted under Sakai City's "Minami Ward Project to Promote Development of a Community with Flowers", by using two different viewpoints, collaboration with locals and an expansion of its local involvement. The study found that a neighborhood center served as an important base for management activities. It also revealed that, although a systematically-designed network of green space did not seem to fully contribute to the development of activities, parks and open spaces next to a neighborhood center were an important factor in the spreading of management activities in the community. In addition, the study revealed that collaboration with locals not belonging to a local association was significant in the spread of local involvement in the community, and that activities other than community gardening activities developed wider collaboration with locals.

**Keywords:** Community Gardening Activities, Regeneration of Newtown, Regenerating Community, Management of Local Environment

**キーワード:** コミュニティガーデン活動, ニュータウン再生, コミュニティ再生, 地域管理

### 1. 研究の背景及び目的

建設から約半世紀を経た我が国のニュータウンでは、住宅や施設の老朽化に加え、居住者の高齢化に伴うコミュニティの衰退など、まちの活力の低下が深刻な課題となっている。大阪府堺市に位置する泉北ニュータウンは、1967年にまちびらきが行われた大規模ニュータウンであり、同様の課題が顕在化している。成熟型のニュータウンへの再生のためには、住民主体による共助の視点でのマネジメントが不可欠であり、単一の自治会や連合自治会をはじめマンションや団地の管理組合などの一定のまとまった区域内の居住者によって構成される地縁組織が地域環境の管理主体となることが期待されている<sup>1)</sup>。泉北ニュータウンは近隣住区論をベースに自然地形を積極的に保存、活用した土地利用計画が図られ、計画的な施設配置や公園緑地系統を保有することが特徴<sup>2)</sup>であり、このような地域環境を活かした再生が求められる。

これまでのニュータウン再生に関する既往研究を見ると、篠沢らは計画段階での自然環境構造の違いから公園再整備の方向性のあり方を探っており<sup>3)</sup>、田中らはニュータウンでの住民参加による持続可能なまちづくりの指針作りの意義とその方向性を<sup>4)</sup>、山本らはニュータウンの環境に関わる問題と解決の取り組みを探っている<sup>5)</sup>。一方、地縁組織による地域管理の研究では、寺内らは地域のため池を対象にして地縁組織による地域環境管理のあり方を探っており<sup>6)</sup>、堤らは住民主体で緑化活動を行う団体を対象に緑化活動の波及効果を探っている<sup>7)</sup>。島尾らは市民によるみどりのまちづくりが発生・組織化される要因として地縁組織が母体となることを挙げている<sup>8)</sup>。

以上のように、緑地環境のネットワークの活用や住民参加の観点からニュータウン再生の可能性を探った研究や緑化活動を行う地縁組織による地域への波及効果等を探った研究は数多く見られるものの、ニュータウン内で地縁組織が継続的に実施してきた緑化活動を通じて、コミュニティ再生や地域管理の可能性を探った研究は見られない。そこで、本研究では泉北ニュータウンの位置

する堺市南区の事業の一環としてコミュニティガーデン活動を10年以上に渡って実施している地縁組織を対象に、その活動の展開を空間の広がりや人の連携の視点の両面から明らかにすることによって、地縁組織による地域活動を通じたニュータウンのコミュニティ再生や地域管理の可能性を探ることを目的とした。なお、本研究で対象とする地縁組織とは連合自治会のことを指す。

### 2. 研究方法

#### (1) 調査対象の概要

調査対象は、泉北ニュータウンの位置する堺市南区において区が推進する「みなみ花咲くまちづくり推進事業」を受けて、19の連合自治会（以下、自治会という）が実施しているコミュニティガーデン活動とした。図-1は19の自治会の位置と近隣センターの位置を示した図である。図-1より泉北ニュータウンの区域と自治会区域とは完全に一致はしないが、概ねニュータウン内に位置する16の自治会と旧村区域を含む3つの自治会とに分類できる。

「みなみ花咲くまちづくり推進事業」は、2000年8月に開始された「南区の魅力である豊かな自然と人とのつながりを活かし、花の植栽等の事業に取り組むことにより、南区を花で飾り、色彩豊かな美しいまちなみをつくることを目的とする」<sup>9)</sup>事業である。主な事業内容としては、遊休地を活用したコミュニティガーデンを設置し、ボランティア活動の一環として花を植栽することやこれらの活動を通じてまちづくり活動の輪を広げ、交流を図ることである。事業の実施場所や実施内容については、自治会が年度初めに南区に計画書を提出し、承認を得て実施されている。

#### (2) 調査方法

各自治会の人口構成は、2013年11月末の住民基本台帳から15歳未満の年少人口、15歳以上65歳未満の生産年齢人口、65歳以上の高齢人口に分けて把握した。各自治会の活動実態は、2013年5月から10月に各自治会が南区に提出している書類を収集し、整理することによって把握した。なお、書類調査では当該事業費を

\*大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 \*\*大阪府

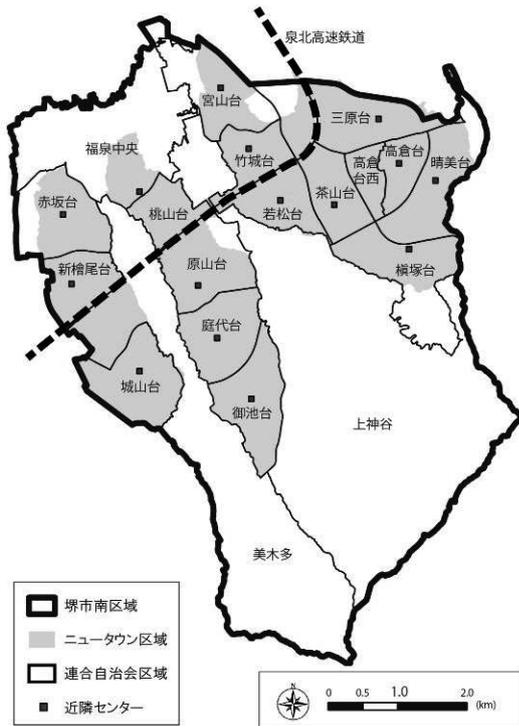


図-1 調査対象自治会及び近隣センターの位置図

表-1 調査対象自治会の人口構成

		年少人口	生産年齢	高齢	総数
		(人)	人口(人)	人口(人)	(人)
堺市南区	宮山台	1,051	4,049	1,887	6,987
		15.0%	58.0%	27.0%	100.0%
	竹城台	572	3,169	1,819	5,560
		10.3%	57.0%	32.7%	100.0%
	若松台	731	3,515	1,778	6,024
		12.1%	58.3%	29.5%	100.0%
	三原台	2,299	6,019	3,196	13,514
		17.0%	59.3%	23.6%	100.0%
	茶山台	722	3,888	2,001	6,611
		10.9%	58.8%	30.3%	100.0%
	高倉台・高倉台西	970	5,105	2,727	8,802
		11.0%	58.0%	31.0%	100.0%
	晴美台	1,057	4,530	2,535	8,122
		13.0%	55.8%	31.2%	100.0%
	横塚台	1,029	4,192	2,552	7,773
		13.2%	53.9%	32.8%	100.0%
	庭代台	909	4,499	2,602	8,010
		11.3%	56.2%	32.5%	100.0%
	原山台	1,557	7,384	3,138	12,079
	12.9%	61.1%	26.0%	100.0%	
桃山台	454	2,787	1,376	4,617	
	9.8%	60.4%	29.8%	100.0%	
御池台	1,419	5,900	2,373	9,692	
	14.6%	60.9%	24.5%	100.0%	
赤坂台	1,119	4,992	2,810	8,921	
	12.5%	56.0%	31.5%	100.0%	
城山台	1,081	4,767	1,729	7,577	
	14.3%	62.9%	22.8%	100.0%	
新檜尾台	1,124	5,867	2,460	9,451	
	11.9%	62.1%	26.0%	100.0%	
旧村を含む自治会区	上神谷	786	3,258	1,305	5,349
		14.7%	60.9%	24.4%	100.0%
	福泉中央	1,189	4,932	2,266	8,387
		14.2%	58.8%	27.0%	100.0%
南区合計	美木多	1,552	6,980	2,573	11,105
		14.0%	62.9%	23.2%	100.0%
堺市全体	南区合計	20,678	92,363	43,662	156,703
		13.2%	58.9%	27.9%	100.0%
	堺市全体	117,712	521,040	210,355	849,107
		13.9%	61.4%	24.8%	100.0%

受けるために年度初めに各自治会が区に提出している 2000 年度から 2013 年度の 14 年間のコミュニティガーデンの計画書から、活動場所と連携主体及び連携内容をコミュニティガーデン活動そのものとそれから派生するコミュニティガーデン以外の活動に分けて特定した。さらに、2013 年 7 月から 12 月に各自治会の代表に直接面談方式によるヒアリング調査を実施し、書類調査で不足していた内容を補完した。また、現地調査によってコミュニティガーデンの位置と面積を確認した。

これらのデータから、コミュニティガーデン活動の詳細につい

表-2 各自治会のコミュニティガーデン活動の概要

連合自治会区	活動主体の組織構成	構成員の人数	活動内容	実施頻度	実施体制		
ニュータウンの自治会区	宮山台	代表1名 ガーデンリーダー兼会計1名 その他構成員	10	植替え・除草 水遣り	2回/月 夏期:毎日 冬期:1回/週	全員 当番制	
	竹城台	代表兼会計1名 副代表2名 ガーデン部長4名 相談役1名 その他構成員	25	植替え・除草 水遣り	1回/週 3回/週	全員 当番制	
	若松台	代表兼会計1名 その他構成員	15	植替え 水遣り	2回/年 毎日	全員 当番制	
	三原台	代表兼会計1名 その他構成員	14	植替え 水遣り	2回/月 夏期:1回/2日 冬期:不定	全員 当番制	
	茶山台	代表1名 会計1名 アドバイザー1名 その他構成員	8	植替え・除草 水遣り	1回/月 夏期:毎日 冬期:不定	全員 当番制	
	高倉台	代表兼会計1名 その他構成員	10	植替え・除草 水遣り	1回/週 夏期:1回/2日 冬期:1回/3日	全員 当番制	
	高倉台西	代表兼会計1名 副代表2名 その他構成員	9	植替え・除草 水遣り	2回/年 適宜	全員 当番制	
	晴美台	代表兼会計1名 副代表1名 その他構成員	11	植替え・除草 水遣り	2回/月 適宜	全員 適宜	
	横塚台	代表兼会計1名 その他構成員	10	植替え 水遣り・除草	2回/年 2回/週	全員 当番制	
	桃山台	代表1名 福泉会担当兼会計1名 ガーデンリーダー1名 その他構成員	8	植替え・除草 水遣り	4回/年 毎日	全員 当番制	
	原山台	代表兼会計1名 その他構成員	21	植替え・除草 水遣り	2回/月 適宜	全員 当番制	
	庭代台	代表兼会計1名 その他構成員	10	植替え・除草 水遣り	1回/月 毎日	全員 自治会管理人	
	赤坂台	代表兼会計1名 その他構成員	26	植替え・除草 水遣り	2回/月 毎日	全員 当番制	
	新檜尾台	代表1名 会計2名 その他構成員	14	植替え・除草 水遣り	1回/週 適宜	全員 当番制	
	城山台	代表兼会計1名 その他構成員	12	植替え 除草 水遣り	数回/年 1回/月 夏期:毎日 冬期:1回/週	全員 全員 当番制	
	御池台	代表兼会計1名 ガーデンリーダー1名 その他構成員	15	植替え・除草 水遣り	1回/月 適宜	全員 当番制	
	旧村を含む自治会区	上神谷	代表兼会計1名 その他構成員	6	植替え・除草 水遣り	5回/年 夏期:毎日 冬期:不定	全員 一構成員
		福泉中央	代表兼会計1名 その他構成員	11	植替え・除草 水遣り	2回/月 3回/週	全員 当番制
		美木多	代表兼会計1名 その他構成員	15	植替え・除草 水遣り	1回/週 夏期:毎日 冬期:不定	全員 当番制

ては、表-2に示すように 19 自治会ごとの実施主体の組織構成、構成員の人数、活動内容、実施頻度、実施体制を把握した。また、各年度の活動の実施場所をコミュニティガーデン活動とそれ以外の活動に分けて特定し、表-3に示したような土地利用別に整理した。さらに現地調査で現在の活動場所を確認し、1:2,500で作成した土地利用現況図の上に活動位置をプロットするとともに、代表的なコミュニティガーデンの現地写真を掲載して、19自治会ごとの立地特性図を作成した。加えて、多くの自治会に共通して活動場所となっている近隣センターについては、位置を図-1に示すとともに、表-4に示す分類によって施設構成を把握した。さらに、1:1,500で作成した各近隣センターの土地利用現況図の上にコミュニティガーデンの位置をプロットして、各近隣センターにおけるコミュニティガーデンの立地特性を把握した。なお、本論では多くの場所に活動が展開している代表的な自治会の例として竹城台と赤坂台を取り上げ、活動場所を図-2及び図-3に、さらにそのうち近隣センター内での活動場所の詳細を図-4及び図-5に掲載している。

次に活動の連携特性を把握するために、各年度の活動における連携相手と連携内容をコミュニティガーデン活動とそれ以外の活動に分けて特定し、それぞれ個人との連携と組織との連携に分類して表-5のように整理した。さらに、19自治会ごとに連携内容や連携相手の変化を時系列的に図示した。なお、本論ではその代表的な事例として図-6と図-7を掲載している。

### 3. 結果

#### (1) 人口構成

表-1は各自治会の人口構成を示したものである。表-1より調査対象地区の人口構成を捉えると、堺市全体では高齢人口が 24.8%であるが、南区では 27.7%と全市に比較して高齢化が進ん

表-3 各自治会の活動場所及びコミュニティガーデンの面積

自治会	適合自治会区	コミュニティガーデン活動						コミュニティガーデン活動以外の活動						
		公園・緑道	道路・歩道	近隣センター	公共施設	小学校	府営住宅	その他空地	公園・緑地	近隣センター	小学校	府営住宅	区域全域	区域外
ニュータウンの自治会区	宮山台			2004～ 【8㎡】			2000～ 【118㎡】					2002～ 2011～		
	竹城台	2001～ 【38㎡】		2000～ 【115㎡】	2001～ 【123㎡】			2001～ 【152㎡】		2000～2012			2001～	2003～
	若松台		2000～2002	2000～ 【10㎡】										
	三原台		2002～ 【80㎡】	2000～ 【42㎡】										
	茶山台			2000～ 【52㎡】										
	高倉台			2000～ 【138㎡】										
	高倉台西		2000～ 【65㎡】 2001～ 【70㎡】		2000～ 【18㎡】									
	晴美台			2002～ 【19㎡】	2000～ 【16㎡】	2007～ 【18㎡】								
	横塚台			2000～ 【42㎡】						2008～				
	桃山台				2000～ 【16㎡】									
	原山台			2000～ 【92㎡】										
	庭代台			2000～ 【60㎡】										
	赤坂台			2000～ 【396㎡】						2007～	2004～ 2004～			
	新樟尾台	2003～ 【21㎡】		2000～ 【112㎡】			2007～2012							
城山台	2000～ 【50㎡】 2007～ 【14㎡】	2000～ 【13㎡】	2000～ 【20㎡】					2004～ 【6㎡】 2010～ 【30㎡】						
御池台			2000～ 【56㎡】					2004～ 【16㎡】						
旧村を含む自治会区	上神谷		2002～ 【26㎡】					2002～2008 2002～2008 2008～ 【6㎡】						
	福泉中央			2004～ 【266㎡】	2012～ 【84㎡】									
	美木多							2002～ 【82㎡】		2010～				

凡例  
活動年度  
【面積】

表-4 各自治会の近隣センターの施設構成

自治会	適合自治会区	施設構成										計
		スーパーマーケット	生鮮食品等の購入店舗	日用雑貨等の購入店舗	医療施設	福祉施設	公共施設	郵便局	その他	空き店舗		
ニュータウンの自治会区	宮山台	0	0	12	3	5	4	1	0	7	32	
	竹城台	1	1	5	2	2	1	1	0	2	15	
	若松台	0	0	6	2	0	2	0	0	2	12	
	三原台	1	1	6	4	1	2	1	0	1	17	
	茶山台	0	1	6	2	1	1	1	0	0	12	
	高倉台	1	3	6	1	0	2	1	0	1	15	
	高倉台西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	晴美台	1	2	4	1	1	2	1	0	1	13	
	横塚台	2	1	14	1	6	5	1	0	2	32	
	桃山台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	原山台	0	2	5	1	0	1	0	0	0	9	
	庭代台	1	4	11	1	2	3	1	0	1	24	
	赤坂台	1	2	4	3	2	1	1	1	0	15	
	新樟尾台	1	1	12	3	1	2	1	0	2	23	
城山台	1	1	10	3	3	2	1	5	1	27		
御池台	1	1	13	2	2	2	1	1	0	23		
旧村を含む自治会区	上神谷	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	福泉中央	1	1	6	2	2	1	1	1	4	19	
	美木多	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

ている。旧村を含むニュータウン外の自治会では高齢化率が南区の平均より若干低く、反対にニュータウン内では高齢化率が南区の平均よりも高い自治会が16自治会中10自治会を占め、ニュータウンの高齢化が進行していることが確認できた。一方、年少人口は堺市全体と南区平均とでほとんど差が見られない。

(2) コミュニティガーデン活動

表-2 より各自治会のコミュニティガーデンの活動主体の組織構成をみると、代表兼会計とその他構成員からなる最低限の組織構成の自治会が19自治会中11自治会となっている。また、構成員の人数は6人から26人となっており、どの自治会も限られたメ

ンバーで活動していると言える。活動内容は、植替え、除草、水遣りに分類でき、植替えと除草については同時に実施している自治会がほとんどであり、構成員全員でこれらの作業を行っている。実施頻度は1週間に1回から1年間に2回まで自治会によって大きな差が見られる。水遣りについては、当番制で実施する自治会が多い。特に夏期は9自治会が毎日水遣りを実施しており、最低でも1週間に2回は活動が実施されている。以上のことから、コミュニティガーデン活動は少人数による組織での活動であるものの、特に夏期の活動頻度は非常に高く、緑化によって地域環境の改善や魅力付けに積極的に働きかけていることが確認できる。また、後述する活動場所が広範囲に展開している代表的な例である竹城台と赤坂台では構成員がそれぞれ25人、26人と他の自治会に比べて多くなっている。

(3) 活動の空間的広がり

表-3 は各自治会の活動場所を活動年度ごとに示したものである。活動が継続しているものは網掛けで、活動が終了しているものは網掛けなしで表示している。また同じ項目の場所で複数の活動が行われている場合には、同じ枠内に活動ごとに段を分けて表示している。コミュニティガーデン活動については、下段にそれぞれの活動面積を示している。

活動場所を見ると、近隣センターがない高倉台西、桃山台、上神谷、美木多を除くすべての自治会で、コミュニティガーデン活動が近隣センター内で実施されていることが分かる。泉北ニュータウンの近隣センターは、居住者への生活サービスを提供するために商業施設を中心とした施設群として、原則、各近隣住区に1箇所ずつ配置されている。但し、図-1に示すように住区の境界と自治会の境界が一致しないため、ニュータウン内の高倉台西と桃山台の自治会内には近隣センターが存在していない。表-4よ



図-2 竹城台自治会の活動場所

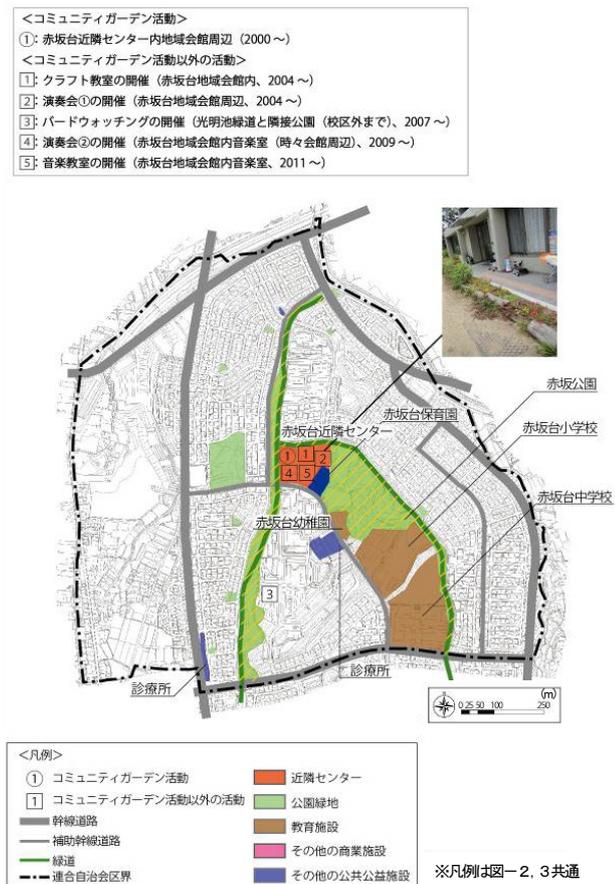


図-3 赤坂台自治会の活動場所

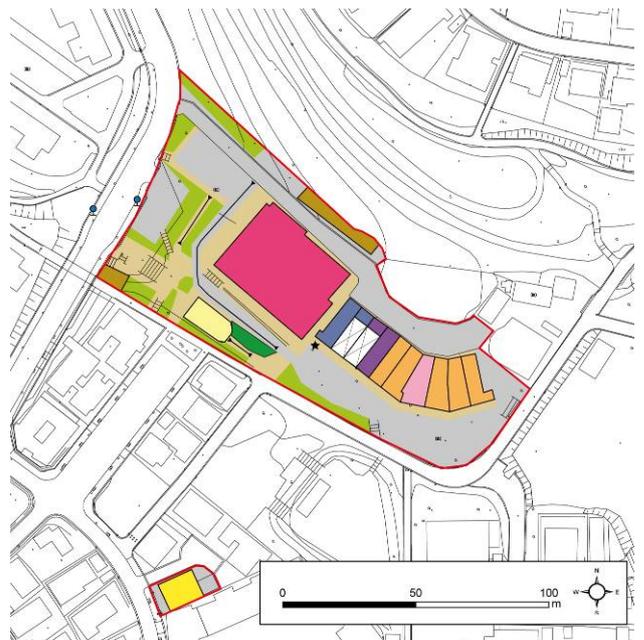


図-4 竹城台自治会の近隣センター土地利用図

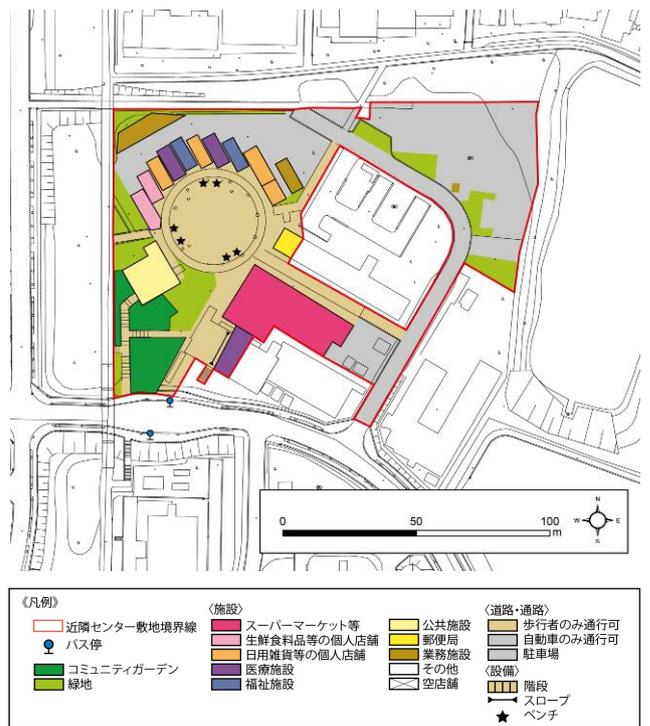


図-5 赤坂台自治会の近隣センター土地利用図

り各近隣センターの施設特性を見ると、店舗数は原山台の9店舗から宮山台および榎塚台の32店舗まで幅があるが、施設構成はいずれの近隣センターでも最も多いのが日用雑貨等の個人店舗である。また、地域会館などの公共施設がいずれの近隣センターにも存在している。近隣センターで実施されているコミュニティガーデン活動のほとんどは事業が開始された2000年度から継続しており、面積も赤坂台で396㎡、福泉中央で266㎡をはじめ5自治会で100㎡を超える比較的大規模の活動になっており、ニュータウン内の自治会では近隣センターがコミュニティガーデン活動の拠点となっていることが明らかとなった。近隣センター以外

表-5 各自治会の連携相手及び連携内容

(年度)

連合自治会区	コミュニティガーデン活動						コミュニティガーデン活動以外の活動			
	個人		組織				個人	組織		
	一般住民	農家・園芸家	まちづくり協議会	近隣施設	他団体・企業	小学校	一般住民	他団体・企業	小学校	
ニュータウンの自治会区	宮山台		2000～(助成金)						2002～(園芸指導)	
	竹城台	2000(資材の提供)	2000～(苗の提供) 2000～(苗の提供)	2000～(助成金)	2001～(散水用水の提供) 2001～(散水用水の提供) 2001～(散水用水の提供)	2003～(苗の提供)	2012～(苗の提供)	2001～(オープンガーデンの参加) 2002～(オープンガーデンの開催)	2003～(苗の提供) 2003～(育苗作業)	
	若松台		2000～(助成金)							
	三原台		2000～(助成金)	2002～(散水用水の提供)						
	茶山台		2000～(助成金)							
	高倉台		2000～(助成金)							
	高倉台西		2000～(助成金)	2001～(散水用水の提供)						
	晴美台		2000～(助成金)	2007～(散水用水の提供)						
	横塚台		2000～(助成金)				2009～(活動のPR)			
	桃山台		2000～(助成金)							
	原山台		2000～(助成金)							
	鹿代台		2000～(助成金)							
	赤坂台		2003～(苗の提供)	2000～(助成金)	2000～2002(散水用水の提供)	2000～2002(資材の提供) 2003～(資材の提供)		2004～(材料費) 2004～(寄付金) 2004～(クラブ教室の開催) 2004～(演奏会①の開催) 2007～(ハードウォッチングの開催) 2009～(演奏会②の開催) 2011～(音楽教室の開催)		
	新檜尾台			2000～(助成金)	2000～(散水用水の提供)					
城山台		2000～(苗の提供)	2000～(助成金)							
御池台			2000～(助成金)							
上神谷			2000～(助成金)							
福泉中央		2004～(苗の提供)	2000～(助成金)							
美木多			2000～(助成金)						2011～(園芸指導)	

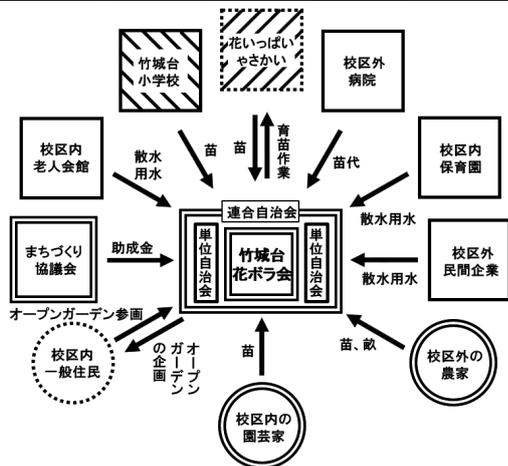


図-6 竹城台自治会の連携相手及び連携内容

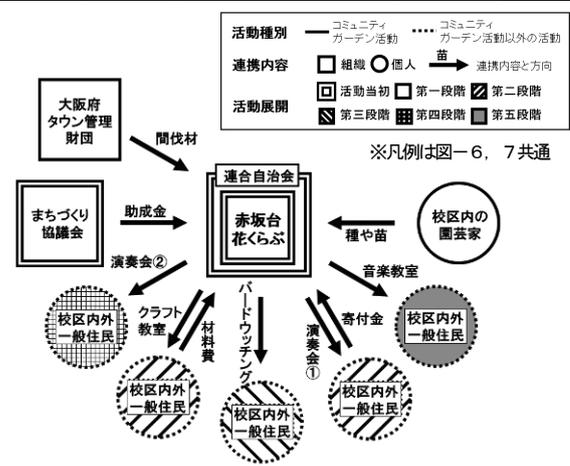


図-7 赤坂台自治会の連携相手及び連携内容

では、地域会館などの公共施設で活動を展開しているのが5自治会で面積は16㎡から123㎡、道路・歩道で活動をしているのが4自治会で面積は13㎡から80㎡、公園・緑道で活動を展開しているのが3自治会で面積は14㎡から50㎡となっており、公共用地を利用した活動の展開が確認できる。

コミュニティガーデン活動から派生したそれ以外の活動を見ると、近隣センター内や小学校などの各敷地で展開されているだけでなく、区域全域や区域外にまで活動が及んでいるものが見られるが、19自治会に共通した活動場所の特徴はなく、それぞれの自治会によって様々な場所で展開されている。活動場所の箇所数をみると、2箇所以内と少ない自治会が19自治会中11自治会と大勢を占めており、その中でも近隣センター1箇所限定されている自治会が茶山台をはじめ4自治会存在する。一方、竹城台と城山台では7箇所、赤坂台では6箇所と多くの場所に活動が展開している自治会が確認できるが、これらの自治会はいずれもニュータウン内の自治会であり、旧村を含むニュータウン外の自治会よりも活動が積極的に展開されている。

次に、特に多くの場所に活動が展開している自治会の例として竹城台と赤坂台の活動場所の立地特性を図-2及び図-3から、また、代表的な活動場所である近隣センター内の活動場所の立地特性を図-4及び図-5から見てみる。竹城台では、2000年度の活

動当初は近隣センター内でのコミュニティガーデン活動と門松づくりの2活動のみであったが、2001年度には近隣センターとは離れた緑道や老人集会所、その他の空地などの複数の箇所でもコミュニティガーデン活動が実施されるようになり、さらに自治会区域全域でのオープンガーデンの開催や自治会区域外での苗づくり活動など、コミュニティガーデン以外の活動が広範なエリアで展開されていることが分かる。また、代表的な活動場所である近隣センター内のコミュニティガーデンは、地域会館に隣接するセンター中央部に設置されており、活動面積も大きく、買い物などの生活行動と関連して目に付きやすい場所で実施されている。従って、活動の空間的な広がりとしては、近隣センターを起点としながら区域内の公共用地を活用して分散的にコミュニティガーデン活動が展開されるとともにコミュニティガーデン活動から派生したオープンガーデンの開催によって自治会区域全域に活動を広げることが明らかとなった。赤坂台では、2000年度は近隣センター内でのコミュニティガーデン活動のみであったものが、2004年度以降、近隣センター内でのクラフト教室や演奏会などのコミュニティガーデン以外の活動が充実し、2007年度からは自治会区域全域でのハードウォッチングも開催されるようになってきていることが分かる。また、近隣センター内では、竹城台と同様に、地域会館に隣接する位置でコミュニティガーデン活動が行われており、活動面

積も大きく、バス停のある近隣センターのエントランスからの視認性の高い場所で行われていることが分かる。従って、活動の空間的な広がり、近隣センターを活動の重要な拠点としながら、そこからつながる公園緑地システムを活用した区域全域に広がる面的な活動が展開されていることが明らかとなった。

#### (4) 活動の連携の広がり

表-5 は各自治会の活動の連携相手と連携内容を活動年度ごとに示したものである。自治会が連携相手から何かを得ている場合は薄い網掛け、連携相手に何かを提供している場合は濃い網掛けで表示している。また同じ項目で複数の相手と連携している場合には、同じ枠内に連携内容ごとに段を分けて表示している。

活動の連携相手と連携内容を見ると、すべての自治会がまちづくり協議会から助成金を受けている。次にコミュニティガーデンが立地する近隣施設から散水の提供を受けているのが6自治会、農家や園芸家から苗の提供を受けているのが4自治会と多くなっていることが分かる。コミュニティガーデン活動以外の活動では、イベントの実施などを通じた一般住民との連携が3自治会、小学校での園芸指導が2自治会で見られる。連携相手の数を見ると、2者以内と少ない自治会が19自治会中17自治会と大勢を占め、特にまちづくり協議会からの助成金のみに限られている自治会が若松台をはじめ8自治会存在し、連携の広がりが限定されていることが明らかとなった。一方、ニュータウン区域内の竹城台と赤坂台では10者と連携しており、他の自治会と比較して極端に連携相手の数が多い。その詳細を図-6及び図-7から見てみると、竹城台では活動当初はコミュニティガーデン活動に用いる苗を提供の授受を通じた農家や園芸家といった個人との連携が主であったが、散水用水の授受をはじめとする近隣施設との連携が付加され、コミュニティガーデンに隣接する施設との連携が深まっていく。また、オープンガーデンの開催と参加、育苗作業と苗の提供といったコミュニティガーデン以外の活動も活性化し、それらの活動を通じて一般住民との双方向の連携が成立していくことが明らかとなった。赤坂台では活動当初は竹城台と同様に苗の授受を通じた区域内の園芸家との連携であったものが、第二段階以降ではクラブ教室や演奏会などによるコミュニティガーデン活動以外の活動を通じて一般住民との連携が活性化し、竹城台と同様に一般居住者との双方向の連携が成立していくことが明らかとなった。

#### 4. 考察

調査対象とした自治会でのコミュニティガーデン活動は、近隣センター内の1箇所のみに限定される自治会や自治会区域内の数箇所に限定される自治会がほとんどであり、連携相手も1者ないし2者という自治会が大勢を占め、必ずしも当該事業によって活動の空間的な広がりや人や組織との連携が拡大している状況あるとは言えず、これらの活動を通じてコミュニティの再生や地域管理の可能性が見出せたとはいえない。

しかし、近隣センターが存在するすべての自治会においてコミュニティガーデンの活動場所として近隣センターが活用され、活動が一定期間継続されており、その活動面積も大きいものが多い。また、近隣センター内に立地する自治会活動の拠点施設である地域会館に隣接した場所で活動が展開されており、近隣センターは地域の緑化活動の拠点として有効に機能していると考えられる。近隣センターは自治会区域の概ね中央に立地し、日常の買い物や自治会活動等の地域活動の場として徒歩圏の中核を形成するように計画されたものである。このような近隣センターの特性を活かしてコミュニティガーデン活動を展開していくことにより、近隣センターが今後のニュータウンにおけるコミュニティ再生や地域管理の拠点となる可能性を持つものと考えられる。また、数は限定されているものの、ニュータウンに位置する自治会では、時間

が経過するにつれて近隣センターだけでなく、そこにつながる緑道や公園、公共施設を活用したコミュニティガーデン活動の空間的な広がりが確認できた。これらのことは、近隣住区論に基づいて計画的に配置された公共施設や道路、公園緑地システムなどの体系だった空間システムは、地縁組織による緑化活動が空間的に展開をしていくうえで有利に作用していることを示すものと考えられる。従って、ニュータウンにおけるコミュニティ再生や地域管理の可能性を考えるうえで、ニュータウンの持つこのような空間システムの活用が有効であると考えられる。

一方、ニュータウンでは、ほぼ同等の空間システムがいずれの自治会区域にも整備されているが、活動が大きく展開している自治会はごく限定的であり、前述したような空間システムだけでは活動は活性化しないものと考えられる。従って、地域活動が活発に展開されていくためには、構成員の人数や連携相手の広がりも重要な要素であると言える。活動の空間的な広がりが見られる自治会では、構成員の人数が一定以上あることに加え、コミュニティガーデン活動をきっかけとした多様な活動の展開や連携相手の拡大が確認できた。このことから、コミュニティガーデン活動は、この活動をきっかけとして多様な地域活動を誘発し、連携相手を拡大していく可能性を持つ地域活動であると言える。そして、このような活動主体と多様な相手との双方向の密な連携は、今後のニュータウンにおけるコミュニティ再生にもつながるものと考えられる。

建設後一定の期間が経過したニュータウンでは、コミュニティ再生や地域管理が課題となっているが、近隣センターを中心に活発に展開されているいくつかのコミュニティガーデン活動に見られるように、地域管理につながる特定のテーマに基づいて一定期間、一定数以上の居住者の参画を得て活動を継続することやニュータウンが保有する近隣センターや公園緑地システムなどの空間システムを活用し、地域での生活行動と連動して多くの居住者の目に触れる場所で活動を展開すること、その活動をきっかけとして多様な地域活動を誘発させ、多様な主体との連携へと活動を発展させることが重要であり、このような地域活動を育てていくことが今後のニュータウンでのコミュニティ再生や地域管理を促すことにつながるものと考えられる。

#### 引用文献

- 1) 堺市 (2012) : 泉北ニュータウン再生指針
- 2) 大阪府企業庁 (1986) : 泉北ニュータウンの建設
- 3) 篠沢健太・宮城俊作・根本哲夫 (2009) : 自然環境の構造に基づく千里ニュータウン公園緑地システム再編の方向性 : ランドスケープ研究 72(5), 815-820
- 4) 田中晃代・久隆浩 (2004) : ニュータウンにおける持続可能なまちづくりの指標作りの意義と方向性に関する研究—千里ニュータウンを事例として— : 都市計画論文集 39(3), 577-582
- 5) 山本茂・澤木昌典・鳴海邦碩 (2003) : ニュータウンの環境に関わる問題と解決への取り組みに関する研究—千里ニュータウンを事例として— : 都市計画論文集 38(3), 91-96
- 6) 寺内雅晃・下村泰彦・加我宏之・増田昇 (2010) : 大阪府におけるため池オアシス整備事業後の地域管理体制に関する研究 : ランドスケープ研究 67(5), 693-696
- 7) 堤公平・平田富士男 (2006) : 住民主体のまちづくり活動の展開と緑化活動との関係性に関する研究 : 環境情報科学論文集 20, 235-240
- 8) 島尾勝・西川清・内芝平 (1993) : 住民参加による緑化活動の組織化に関する研究 : 造園雑誌 56(4), 337-350
- 9) みなみ花咲くまちづくり推進協議会 (2001) : みなみ花咲くまちづくり推進事業パンフレット